

お知らせ

♡ 2021年10月より 高山 啓 医師 の外来が開始されました

高山 啓 医師

専門：循環器内科
外来日：第2、4土曜日



♡ 榊原記念クリニックのホームページをリニューアルしました

コチラからアクセス >>> <https://sakakibara-heart-cl.jp/> または



❁ 榊原記念クリニック ※原則予約制です

所在地：〒163-0804 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 4 階

電話番号：03-3344-3313 (代表)

受付時間(初診の方)：月～金曜 8：30～11：00 13：30～16：00 土曜 8：30～11：00

(再診の方)：月～金曜 8：30～12：00 13：30～16：30 土曜 8：30～12：00

❁ 分院検診センター ※完全予約制です

受付時間：月～金曜 9：00～16：30 予約専用電話 03-3344-4677 (循環器ドック担当者まで)



J R 線

新宿駅南口、中央西口、西口から徒歩10分

小田急線

新宿駅から徒歩10分

京王新線・都営地下鉄新宿線

新宿駅新都心口から徒歩5分

都営地下鉄大江戸線

都庁前駅から徒歩5分

京王バス(宿41、宿45系統)

新宿駅西口(京王デパート前、20番乗り場)から「中野車庫、中野駅行」に乗り2つ目の「新宿 NSビル」下車

京王バス(新宿都心循環バス)

新宿駅西口(京王デパート前、21番乗り場)から「新宿ワシントンホテル」下車



榊原記念クリニック 広報誌



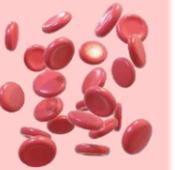
第6号

令和3年

11月

HEART NAVI

はーとなび



編集・発行 | 榊原記念クリニック 広報委員会 ● 新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 4 階 TEL03-3344-3313

TOPICS

～心房細動に対するカテーテルアブレーション治療～

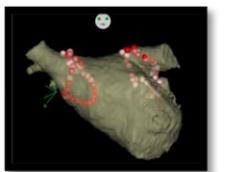
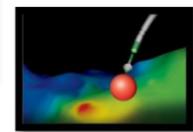


公益財団法人日本心臓血管研究振興会 榊原記念病院 循環器内科部長 関口 幸夫 医師

みなさん、‘心房細動’という不整脈の名前を耳にしたことはありませんか？ 一言で不整脈といってもその種類はたくさん存在します。心房細動は日常診療で最も多く遭遇する不整脈のひとつであり、発症には大きく年齢が関与します。若い患者様も多くいらっしゃいますが、一般的には60歳を過ぎると罹患頻度が増加するといわれ、脈がバラバラに乱れるため動悸、息切れ、めまい、立ち眩み等の症状を引き起こすことがあります。この心房細動に対するカテーテルアブレーション治療が世界でスタートしたのは今から20年以上前のことです。

心房細動のきっかけとなる上室性期外収縮の多くが肺静脈に存在することが判明し同部位からの異常電気興奮を左心房に伝導させないように治療することから始まりました。カテーテルを用いて肺静脈の周囲を焼灼し肺静脈を電氣的に隔離する肺静脈隔離術と呼ばれる治療法であり、洞調律維持効果が抗不整脈薬と比較して有意に高いことが明らかになり、薬剤抵抗性の発作性心房細動に対する治療として広く行われるようになりました。

近年では、発作性心房細動(発作後7日以内に正常の脈に戻るタイプ)だけでなく、自覚症状を伴う持続性心房細動(発作が7日以上持続するタイプ)にもカテーテル治療の適応が広がっています。この治療法は肺静脈周囲に隙間を残さず連続した貫壁性の焼灼巣を作成する必要があり、榊原記念病院では個々の患者様の心臓の3Dモデルデータに焼灼した部位を記録できる3Dマッピングシステムを用いて治療を行っております。このシステムを用いることで合併症を減らし効率の良い治療を行うことが可能となります。



高周波カテーテル

>>2ページ(裏面)につづく

心房細動アブレーションの分野はここ数年で飛躍的に技術進歩が進みましたが、その象徴ともいえるのがバルーン治療です。2014年にクライオバルーン、2016年に高周波ホットバルーン、2018年にレーザーバルーンと、異なるエネルギー源および特徴を有する3つのバルーン治療が次々に認可され発作性心房細動に対する治療は大きな転換期を迎えております。クライオバルーンと高周波ホットバルーンは4本の肺静脈各々にバルーンを押し当てることでバルーンと接着した組織への治療効果を得ることが出来ます。

レーザーバルーンはバルーン内部に内視鏡を挿入し肺静脈の内部を実際の映像で確認しながらレーザーを用いて焼灼を行うものです。前述した従来のカテーテル治療と比較してこれらのバルーン治療では治療時間が短縮されることが多く、患者様の肉体的および精神的負担の軽減につながることが期待できます。海外のデータからも治療後の洞調律維持率に関して従来の治療法と同等の効果が得られることが確認されており、榊原記念病院でも3種類のバルーンを使用できる設備・体制を整えて治療を行っております。治療時のバルーン選択につきましては、術前に撮像する心臓CTから得られる解剖学的な肺静脈の形態を参考にしながら、各バルーンの治療特性をふまえて最も適したバルーンを選択いたします。バルーン治療では治療時に造影剤を使用いたします。また、バルーンは肺静脈周囲を治療するためのデバイスですので、造影剤の使用が制限される患者様（腎不全・喘息・アレルギーなど）や肺静脈以外の治療が必要となる患者様には従来のカテーテルを用いて治療を行います。

クライオバルーン

クライオバルーンを用いた肺静脈隔離術は亜酸化窒素を用いて冷却したバルーンを肺静脈入口部に圧着させることで全周性に冷却巣を作成する治療法です。クライオエネルギーは外科領域では以前から用いられているエネルギー源であり、冷却されたカテーテルやバルーンはドライアイスのように組織に固着するため心周期や呼吸変動に影響を受けることなくカテーテルが安定した状態で治療することが可能です。



クライオバルーン

ホットバルーン



高周波ホットバルーン

高周波ホットバルーンは、我が国で開発された治療機器です。高周波を用いて加熱したバルーン内液（中心温度70°C）を攪拌し、拡張したバルーンを肺静脈入口部に圧着させることにより熱伝導によって電気的隔離を行います。コンプライアンスが高いバルーンを採用していることで、バルーンへの注入量に応じてバルーンの大きさが調整可能であり、肺静脈の形態に合わせやすい特徴があります。

レーザーバルーン

カテーテル先端のバルーンを拡張し肺静脈入口部に圧着させることで血液を排除し、バルーン内に挿入した内視鏡で焼灼ポイントを目視で確認しながら赤外線レーザーを肺静脈の形態にあわせて移動させながら治療します。バルーンのコンプライアンスが高く肺静脈の形態にあわせやすく、焼灼によって変色した組織が見えることもあり視覚的な治療が可能です。



レーザーバルーン



■ PSVT…発作性上室性頻拍、■ AFL/u-AFL…心房粗動/非通常型心房粗動、■ PVC/VT…心室性期外収縮/心室頻拍、■ AF…心房細動

心房細動でお困りになられている患者様も多くいらっしゃるかと存じます。当院では2～3泊の入院で上記治療を行っております。ご不明の点等がございましたらスタッフまでお声かけください。



～災害から身を守るために～



榊原記念クリニック災害対策委員会

1年に1度は、びち(1) < (9)の確認

11月19日は東京都が定めた「備蓄の日」です

日本は災害大国と言われています。近年地震、豪雨、台風などの自然災害により甚大な被害を受けています。被害を最小限にするために日頃から防災グッズの備えが必要です。最近では、防災に対する認識が高まり防災対策をしているご家庭も多いと思います。この機会に今一度、皆様に防災への関心を深めていただきたたいと思います。



☆ 確認してほしいこと ☆

- ◆ 現在処方されている薬の名前とかかりつけ医療機関の名称を紙に書いて（携帯電話に撮影して）用意しておきましょう。お薬手帳は大切です。
 - ◆ 薬は余分に持っていますか？（3～7日分程度）
 - ◆ 在宅酸素を使用している方は、酸素ボンベの予備はありますか？
 - ◆ お住まいの地域の避難場所、避難所、避難方法について把握できていますか？
 - ◆ ご家族と緊急時の連絡方法は相談していますか？
 - ◆ 災害伝言ダイヤル「171」の使用方法を確認しましょう。
 - ◆ 防災グッズの準備はしていますか？
- （1週間程度の食料・飲料水、簡易用トイレ、懐中電灯、ラジオ、ホイッスルなど）



日頃防災グッズを準備しているだけで台風の時期を含め、いざというときすぐ避難ができるかと思えます。

東京備蓄ナビQRコード

東京都が開設した東京備蓄ナビは、「日常備蓄」に必要な備蓄品目・数量をお知らせしています。簡単な質問に答えるだけで何を備蓄しておけばいいのかが一目でわかります。QRコードが読み込めない方は、「東京備蓄ナビ」と検索してください。



または

